

「ひょうご中小企業技術評価制度」の活用による資金供給の円滑化

平成21年1月16日

地域とともに発展する

但馬銀行

1. 取組みの概要

- (1) 「ひょうご中小企業技術評価制度」(以下「技術評価制度」という)の活用
- (2) 「たんぎん技術評価サポートローン」の開発



1. 取組みの概要

(1) 技術評価制度の概略

- (財)ひょうご産業活性化センターによる中小企業支援施策
- 単なる技術のみの評価ではなく、技術力・成長性等を含めた多面的な評価を客観的に実施



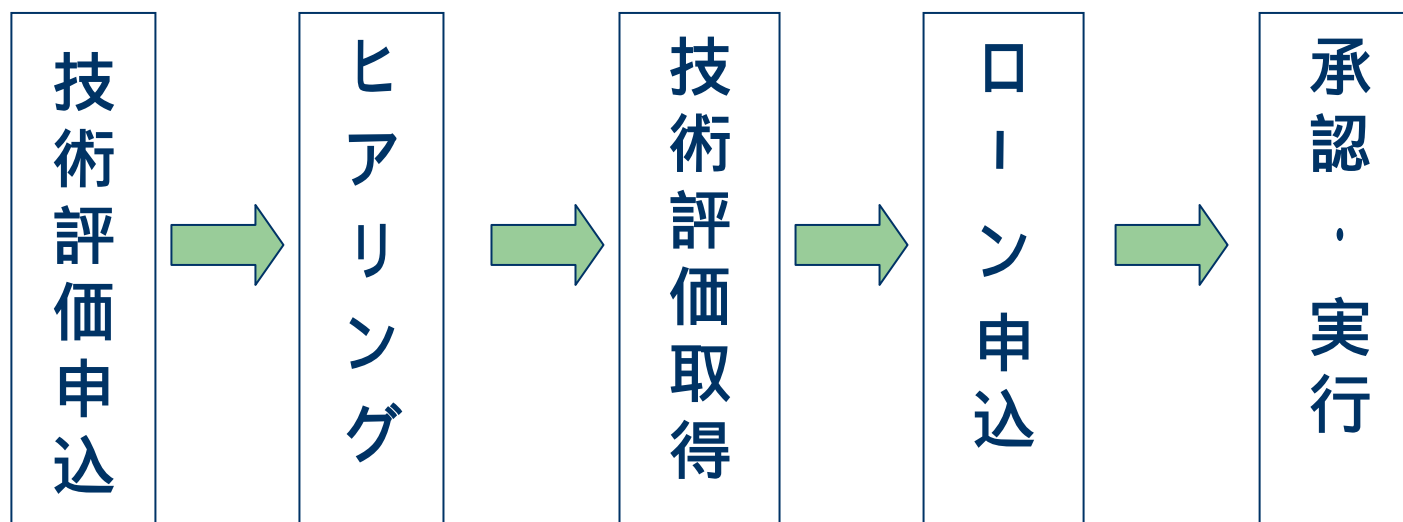
1. 取組みの概要

(2) 「たんぎん技術評価サポートローン」の概略

- 対象者
技術評価制度で一定以上の総合評価点を得られた法人
および個人事業主
- ご融資金額 ・ 期間
5,000万円以内 ・ 7年以内
- その他
固定金利 ・ 原則無担保

1. 取組みの概要

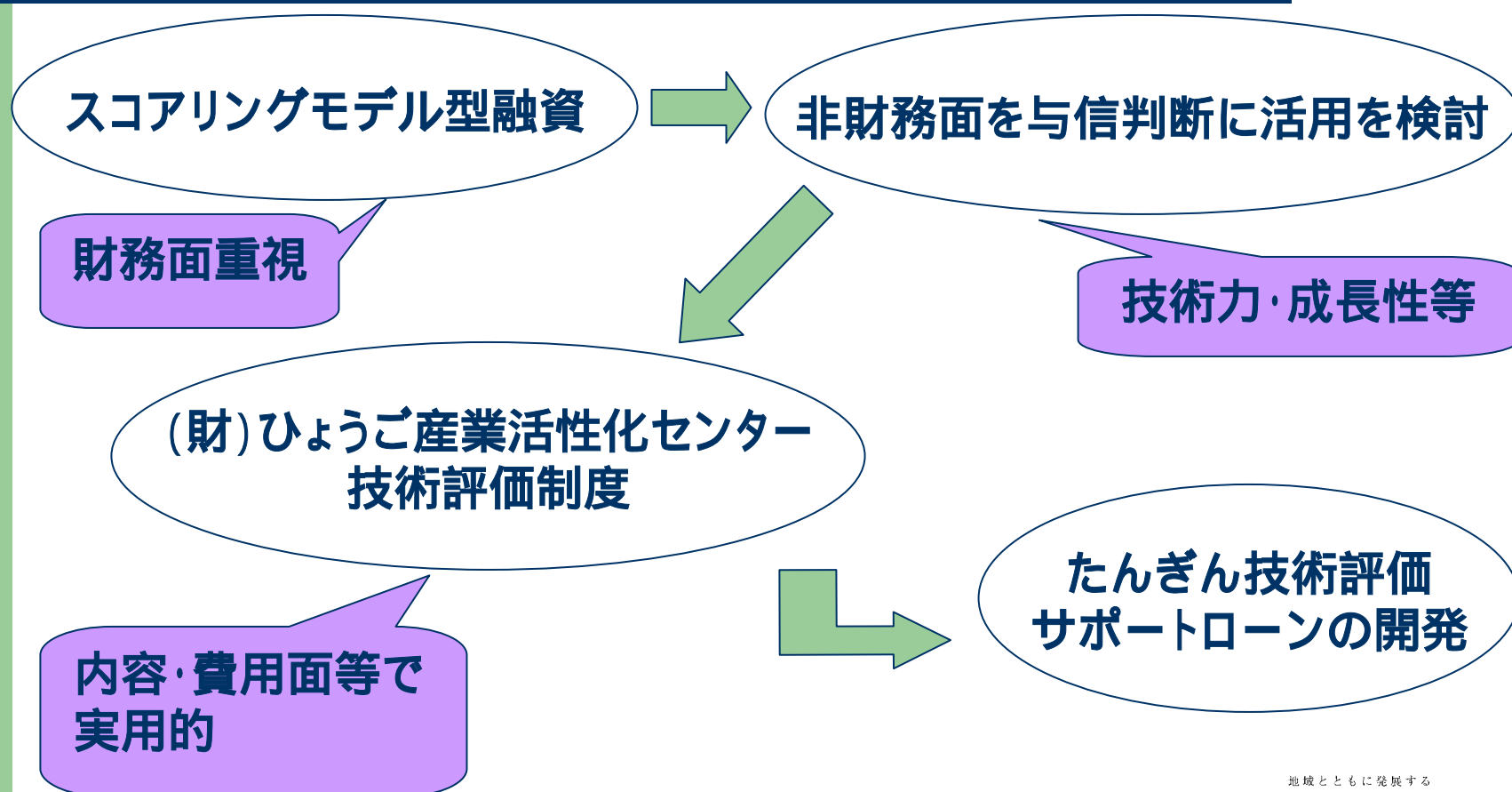
(たんぎん技術評価サポートローンの事務フロー)



((財)ひょうご産業活性化センター)

(当 行)

2. 取扱に至った経緯・背景



3. 取組み実績 (平成19年度)

(1) 当行取次ぎによる技術評価の取得状況

技術評価制度申込件数 …… 64件
うち、技術評価完了件数 …… 46件

(2) 融資実行実績

「たんぎん技術評価サポートローン」 実行件数 …… 14件
実行金額 …… 334百万円

(3) 推進体制

営業店が案件を抽出し、本部担当者(2名)でサポート
(研修会、店内勉強会等)



4. 取組みにあたって工夫した点

- (1) 取引先企業の資金繰りの円滑化
 - ・ 運転資金においても最長7年の融資期間、固定金利での対応
- (2) 金融機関として一定の リスクテイク
 - ・ 信用格付と技術評価を関連付けした融資金額、金利設定



5. 当行における技術評価制度の現在までの活用状況と今後の活用方針

(1) 現在までの活用状況(平成20年9月末現在)

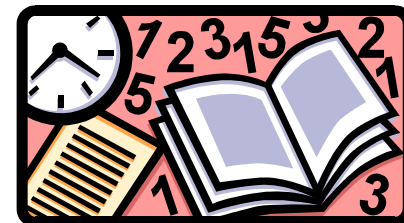
- ・ 技術評価制度申込件数 …… 104件
うち、技術評価完了件数 …… 101件
- ・ 「たんぎん技術評価サポートローン」 実行件数 …… 28件
- 同 実行金額 …… 610百万円



5. 当行における技術評価制度の現在までの活用状況と今後の活用方針

(2) 今後の活用方針

- ・ 取引先企業の実態把握手段としての活用
- ・ 取引先自身の現状分析資料としての活用



6.課題・問題点とその解決策

(1) 営業店への周知徹底

- ・ 研修会、店別勉強会の実施

(2) 取引先企業への浸透

- ・ 自社の「現状分析の機会」をアピール



7. 具体的事例

- ・A社は年商5億円、木材チップが売上の4割を占める製材業者

< 技術評価申請から融資取組まで >

- 技術評価取得に至った経緯

- ・事業承継により、経営者が替わったばかりであった
- ・建築用木材の需要が低下しており、業態を変革する必要があった
- ・新たな設備投資の計画があったが、市場の分析が不十分であったため、計画の実行を躊躇していた

7. 具体的事例

技術評価制度を紹介

- 技術評価取得により同社の強みと弱みを認識

【強み】

- ・ 特定製品における国内トップメーカーを主要取引先としており、今後さらなる増産を期待されている
- ・ 木材系産業廃棄物処分事業に参入したことにより、各種原材料を幅広く集積することができる
- ・ 創業者である会長が健在であり、事業実績もあることから信頼性が高い

7. 具体的事例

【弱み】

- ・稼動中のチップ製造機械は老朽化により生産性が低く、設置場所も暗いため、作業環境も悪い
- ・売上高には寄与するが、利益率の低い製品がある
- ・販売費及び一般管理費における荷造運賃比率があまりにも大きい

経営者が自社の課題を
再認識して検討

設備投資実行へ



7. 具体的事例

< 投資内容 > 総額3千5百万円

- ・ チップ製造機械更新とそれに伴う工場の改造
- ・ フォークリフト購入

< 当行の対応 >

- ・ たんぎん技術評価サポートローン …… 3千万円



ご清聴ありがとうございました

地域とともに発展する

但馬銀行